

自分づくりと地域デビューを目指して シニアボランティア養成講座

永年培ってきた豊かな経験や知識、趣味等を活かしたシニア層のボランティア活動への参画はシニアにとっては新たな発見と生きがいづくりにつながるとともに地域の活性化にとっても大切なことです。そこで、自分づくりと社会参加を目的に1月9日、10日の両日シニアボランティア養成講座を開催しました。参加者からは「難しい内容かと思ったが分かり易く楽しい講座だった」「定年退職後の生活にボランティア活動参加を考えているが基礎知識を学ばせていただいた」「自分で出来るボランティアをしっかりと見つけていきたい」などの声がきかれました。

1日目

午後からの開講で講義が中心になりボランティアの現状や今後直面するであろう介護保険・福祉機器の知識を学びました。



「シニア世代とボランティア活動」



「分かりやすい介護保険とボランティアポイント制度」



「福祉機器を見て、体験してみよう」

2日目

①楽しいレクリエーションを覚えましょう



指導の佐土原親臣先生の巧みな手さばきと話術で参加者は童心に返ってなごやかなひとときでした。「学んだことを今後の活動で活用したい」という声が聞かれました。

②シニアボランティア実践事例発表

○地域づくりに貢献する実践



武・田上地域女性団体連絡会会長 有野 春美さん

他県から夫の郷里の鹿児島にきた。当初は友だちもいなく子どものPTA活動が最初の関わりであった。「人の前に灯をともしれば、自分の前も明るくなる」を信条に地域の見守りや声かけ、食用油の回収など地域課題に取り組んでいる。

○趣味・特技を活かした実践



きりしまおもちゃ病院院長 児玉 昇さん

子どものころから、機械いじりが好きでそのような仕事に就いた。退職してから仲間を求めて、みんなでおもちゃ病院を立ち上げた。子どもたちの笑顔を見るに付け、やりがいを感じている。今は私の生きがいとなっている。

○仕事分野を活かした海外での実践



jica シニアボランティア OB 堅山 孝男さん

ひよんなことから、自分の専門分野がグアテマラでのボランティアに役立つことを知り参加した。2年間の滞在中、国民性の違う中南米の人々に戸惑うことが多かったが、楽しく活動することができた。楽天的な性格の私にはいい経験だった。